

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（610）

2. 日時：令和6年2月26日 13時10分～13時55分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

宮本上席安全審査官※、秋本主任安全審査官、熊谷主任安全審査官※、

片桐主任安全審査官、建部主任安全審査官、藤原主任安全審査官、

小野安全審査官、平本安全審査専門職

技術基盤グループ シビアアクシデント研究部門

寺垣主任技術研究調査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 原子力安全推進グループリーダー、他9名

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）※、他4名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 確率論的地震ハザード変更に伴う地震PRA再評価結果及び事故シーケンスグループ等の選定への影響について
- （2）泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について（SAE8 r. 3. 10）
- （3）泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について（SAE8-9 r. 3. 10）
- （4）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について（シーケンス選定）
- （5）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（重大事故等対処設備）補足説明資料 39条（SA39H r. 5. 1）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁アキモトですそれでは本日のヒアリングを開始します。北海道電力泊発電所3号炉の地震PRA関係です。それでは、事業者から説明をお願いします。
0:00:16	はい。北海道電力の梶川です。
0:00:19	本日は地震PRAの最終評価結果ということでご説明をさせていただきます。
0:00:25	シーケンス選定に関しましては、昨年の3月30日の審査会合で、1度ご説明はしておりますが、その時点では地震、
0:00:35	PRA津波PRAに関しましてはハザード側の年超過確率が、まだ審査が完了していないと、いうことがありましたので暫定評価結果という位置付けでご説明をさせていただいております。
0:00:48	本日はですね、地震の年超過確率に関しまして審査会合での一通りの説明が完了いたしましたので、
0:00:56	地震PRAの最終評価結果ということでシーケンス選定への影響についてご説明をいたします。
0:01:03	説明する資料に関しましては、審査会合で今後用います予定となっております資料1-1ですね、こちらのパワーポイント資料を中心にご説明をさせていただきます、
0:01:16	引き続き、まとめ資料比較表の変更点、これに関して資料1-4の記載適正化リストこれを用いて簡潔にご説明をさせていただきたいというふうに考えております。
0:01:29	では引き続きコバヤシの方から説明をさせていただきます。
0:01:33	はい。北海道電力の小林です。それでは資料1-1を用いまして説明させていただきますと右上の2ページ目をお願いいたします。
0:01:43	今冒頭の説明にありました、ちょっと重複するところあるんですけど簡単に説明させていただきますけれども、まず、規則解釈37条に基づきまして、
0:01:53	個別プラントのPRAを実施しております、昨年5月、3月に審査会合にて地震PRAの暫定評価結果についてはご説明済みですけれども、この暫定地震PRAというのは、
0:02:05	令和3年の一部補正の確率論的地震ハザード、以降は、地震ハザードと呼ばせていただきますけれどもこちらを用いて評価を実施したものでして、昨年11月の審査会合にて、震源

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:17	モデルの分岐を見直した地震ハザードを提示し、概ね妥当な検討がなされていると評価をいただきましたことから、その分岐を見直した地震ハザードを用いて、地震PRAの再評価を実施し、
0:02:29	CK選定等への影響の有無について確認いたしましたことから、本日、確認結果について説明させていただきます。
0:02:37	めくっていただいて、3ページ目よろしくようお願いいたします。
0:02:43	こちら地震PRAの再評価のイメージなんですけども評価の流れにつきましては昨年の暫定評価と全く同じとなっております。
0:02:51	見直した地震ハザードの入れ替えを実施シマダ地震ハザード変更に伴いまして、施設設備の応答も変更となりますことから、建屋土木重要土木、屋外重要土木、
0:03:02	フック構造物、フィラジリティ笹井評価も実施し、新たなフラジリティー値を用いて事故シーケンス評価、
0:03:08	炉心損傷頻度の定量化を実施しております。
0:03:11	その結果からと、泊こういう新たな事故シーケンスグループの追加要否を確認する流れとなります。
0:03:18	めくっていただいて4ページ目をお願いいたします。
0:03:23	こちら、地震ハザードの新旧比較をしたものでして、全加速度領域で年超過確率が上昇しているという結果となっております。
0:03:31	こちらは見直しは、
0:03:33	変更後の地震ハザードを用いて定量化を行うこととなります。
0:03:38	次の5ページ目をお願いいたします。
0:03:44	こちらはフラジリティーを新旧比較したものとして建屋、土木構造物機器をそれぞれから一つ代表として記載しております。
0:03:52	機器フラジリティーにつきましては機器数が多数ございますので、FV重要度が一番大きかったパワーコントロールセンターを代表として記載しております。
0:04:01	次の6ページ目をお願いいたします。
0:04:07	こちらは、最初から炉心損傷頻度の新旧比較を事故シーケンスグループ別で示したものです。で、表の一番下に、地震PRAの全炉心損傷頻度を記載しておりまして、
0:04:20	2.1×10のマイナス6乗から3.3掛け10のマイナス6乗に増加しておりますけれども、各事故シーケンスグループの寄与割合は大きく変化はしておりませんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:30	黄色ハッチングをしている外部事象特有の事故シーケンスがアノ y o u r 頻度となるようなことはございませんでした。
0:04:39	続いて7ページ目お願いいたします。
0:04:45	こちらはな地震だけじゃなくて内部事象津波を合わせたプラント 全体の炉心損傷頻度の新旧比較となっております、その変更 前、地震、
0:04:56	P R の再評価前、後でどちらも、全炉心損傷頻度は 2.3×10 のマ イナス4乗で変更はございません。
0:05:04	で、こちらなんですけど内部事象P R A P R Aの全炉心損傷頻度 は10のマイナス4乗オーダー。
0:05:09	で、地震P R Aにつきましては先ほど示しました通り、6乗オダと タケダ程度、炉心損傷頻度が低いものとなっておりますので地震 P R Aの結果を入れ替えても、
0:05:19	各事故シーケンスグループの寄与割合もコンマ数パーセント程度 の変更にとどまっております。
0:05:26	次の8ページ目をお願いいたします。
0:05:31	こちら事故シーケンスグループと重要事故シーケンスの影響につ いてなんですけども、地震特有の事故シーケンスの9割は再評価 前と同程度と。
0:05:40	ということで、頻度と影響の観点から総合的な判断に変更なく、神 経センターの影響はないと。で、新たな事故シーケンスグループ の追加で重要事故シーケンス数の変更はないという結論となっ ております。
0:05:52	一番最後9ページ目のまとめをお願いいたします。
0:05:58	まとめですけども地震は、ハザード変更に伴いまして地震P R A を再評価を実施しました。して、地震P R Aの炉心損傷頻度自体 は増加しておりますけれども、地震特有の事故シーケンスの寄与 割合は従前と同程度と。
0:06:11	また内部事象津波を合わせたプラント全体の炉心損傷頻度にも変 更はなく、新たな事故シーケンス、
0:06:17	グループの追加、重要事故試験数の変更はございません。
0:06:22	四つ目の
0:06:24	記載していますけど、津波P R Aについてですけれども、確率確 率論的津波ハザードが、今現在まだ未確定でおります。でありま

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	すので、最終評価結果につきましてハザード確定後に別途提示し、
0:06:36	再度シーケンス選定に対する影響について説明いたします。
0:06:41	資料1-1につきまして以上となります。
0:06:44	続きまして資料1-4の方が、記載適正化リストでございますこちらちょっと簡単に、こういった変更かというのを説明させていただきますけれども、
0:06:54	まず、地震PRAの再評価結果の反映のほや結果反映のところは当然、適正化しておりますけどそれ以外にもともと、
0:07:03	地震PRAとが暫定評価ということで注釈をつけていたんですけども、そちら削除しております。またそのその他の記載、表現の適正化だったり、気を期するというものをしております。
0:07:16	1点炊事予約を削除した部分なんですけども、もともと水準枠内に文章を記載して文書が見えていた状態にしていた箇所なんですけど、その部分につきまして記載の変更は、
0:07:26	ございませんで、それ通常枠を外したところを判別できるよう、もともと黒破線で示していた部分を黄色破線にしているという、変更を行っております。
0:07:37	資料1-4につきましても、説明は以上となります。
0:07:43	規制庁協本ですそれでは、こちらからの確認に入りたいと思います。
0:07:48	衛藤先ほどの1-4のお話だと、あれですかね、対Gは、
0:07:55	全部なくなったっていう理解でよいでしょうか。
0:08:00	はい。北海道電力の小林ですけども、津波の部分につきましては引き続き、追隨しておりますけれども地震に関わる部分につきましては、数字はすべて削除しております。
0:08:10	以上です。
0:08:15	規制庁アキモトですそれではその他何かありますでしょうか。
0:08:21	どこからでもいいですけど、パワポでも何でも。
0:08:24	はい。平本さん、どうぞ。お願いします。
0:08:33	原子力規制庁ヒラモトです。
0:08:35	この資料の1-1でちょっと確認なんですけど、
0:08:40	資料1-1の5ページ目で、フラジリティー。
0:08:45	ですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:47	ここに変更前と変更後のプロジリティ書いてありますけども、この変更前のフラジリティってのまとめ資料の方には、どこに書いてある。
0:08:57	北海道電力の小林です。変更前につきましてこのパワーポイントの一番上の黄色枠のすぐ直下に書いてあるんですけども、昨年3月30日の審査会合資料から抜粋しております今回提出しているもの。
0:09:12	今、変更前の情報というのは、載せておりません。
0:09:20	規制庁平本です。わかりました。それと、
0:09:23	ちょっと建屋等、屋外重要土木構造物で、
0:09:30	風呂ジリティの値がですね、
0:09:33	タケヤの方は、
0:09:36	ちょっとおっきくなってて、
0:09:38	同構造物はちょっと小さくなってるとはじゃないですか。
0:09:41	地震ハザード自体は、全体的に大きくなってると思うんですけども、それに対して、竹尾の振れジリティ大きくなると、
0:09:52	というのは定性的にはどんなふうな理屈なんでしょうか。
0:10:03	はいどう電力の高橋です。
0:10:05	衛藤。
0:10:06	建屋と構造物のフラジリティ評価におきましては、地震応答解析による評価を使っております。そのため、ハザードは確かに若干大きくなってございますけれども、
0:10:17	これに基づいた地震応答解析の結果としての
0:10:22	評価値ということにして、我々として数値としては多少アノズ、大小関係多少ここでは見えてございますけども、評価としては同程度の評価というふうに考えてございまして、あまりフラジリティ自体は大きく影響なかったなと。
0:10:37	いう評価のという、
0:10:39	我々としては
0:10:42	考えてございます。
0:10:45	あんまり影響がないというのをこの数値見てもね、
0:10:50	わかるんですね。
0:10:52	ただ、
0:10:53	大きくなった理由っていうのに何か若干ですけども、
0:11:01	定性的な理由があるのかなと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:05	北海道電力の高橋でございます。定性的な理由というのはなく、 ございませんで、本当に地震応答解析の結果の、
0:11:15	に基づくところのような建屋に、この下、原子炉建屋でいうところ の数値になりましたし屋外重要土木構造物でいきますと海水管ダ クトの辺りなんですけど、このように、
0:11:26	転んだというか、そういった数値になったという結果。
0:11:29	側がこうなったということでございます。
0:11:33	規制庁平本です。何でそこなったのかなってというのが、定性的に 何か説明できますかという質問なんですけど。
0:11:43	北海道電力の高橋でございます。
0:11:49	おそらく地震応答解析でやる時に10のマイナス4乗の振らハザード 曲線に基づいた応答解析やっていくので、
0:11:59	入力の加速度レベルとしては、大きく変わってございません。た だ地震はというのがその時その時で波がこの前回の波と今回の地 震は自体が変わってますので、
0:12:11	そのマエネ波の特性が少し出たのかなと。
0:12:14	いうふうに推測されます。
0:12:19	波が若干違うからと、その名ミイ。
0:12:23	影響するところが、その建屋と土木構造物で多少違うと。
0:12:29	ということなんですかね。
0:12:32	北海道電力の高瀬です。その通りで、を行います。
0:12:38	あと現象気象庁平本です。私からは以上です。
0:12:49	規制庁の建部です。資料1-3の比較表をお願いいたします。
0:12:56	資料1-3のですね、
0:12:59	255ページなんですけれども、
0:13:04	よろしいですかね。255ページの下の方に、dポツってあると思う んです。
0:13:09	原子炉格納容器損傷で、
0:13:12	現原子炉格納容器損傷等の、
0:13:16	原子炉格納容器等の損傷によりっていう書き出しになっていて、
0:13:20	ここの、等が含まれる意味っていうのをちょっと教えていただけま すか。
0:13:33	城田です。ちょっと補足しますと、同じ資料の18ページ、
0:13:38	見ていただくと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:40	(3) 番で原子炉格納容器損傷ってあって、ここでは大規模な地震では原子炉格納容器が損傷することって、等含めてないんですね。
0:13:50	この差異が下知りたいという、いう質問です。
0:13:57	はい。北海道電力の小林です。それはちょっと明確にはちょっと書いた方が出てこないんですけど
0:14:04	まず地震PRA単体としましては格納容器損傷に関わる機器をフラジリティ評価をしておりますしてその際に、格納容器本体以外の部分も含めているというので、
0:14:16	まず、頭の部分はそのようになります。
0:14:40	規制庁タテベースこれ 255 ページ見ていただくと比較表になっていて、
0:14:45	その
0:14:46	要は女川に引っ張られたからどうついてるっていう理解ですかね。
0:14:52	北海道電力の小林です。
0:14:55	ここの部分につきましてですね女川に記載を合わせているというところですよ。
0:15:03	GDPRとしてその隔壁等を、何を含めてるかってのは先ほど説明した通り、格納容器本体以外の部分、
0:15:11	も含めた、損傷という意味で記載しております規制庁のタテです。そ、そういった意味でいくとその建屋だったりCポツ建屋だったり、
0:15:22	いろいろ
0:15:23	ありますよね。だから、
0:15:26	取ってくれ。
0:15:27	実際等に含まれるものってないんじゃないのかなと思うんですけど。
0:15:33	北海道電力の小林ですけどその建屋の部分につきましては、建屋フラジリティとして評価しておりますしてここの格納容器の部分につきましては機器フラジリティとしてやっておりますしてちょっとその辺の使い分け。
0:15:45	は考えていたものですけどちょっとこの辺、記載の適正かどうかというのは、すす再度確認が必要かなとも考えております。
0:15:55	規制庁のタテです。それでは確認をお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:59	はい。北海道の木場先生、除外いたしました。
0:16:06	規制庁アキモトその他はいかがでしょうか。
0:16:12	はい。
0:16:14	ちょっと私の方からパワーポイントなんですけど、
0:16:18	1-1で、
0:16:21	まずはですけど、
0:16:24	4ページのハザードカーブは、
0:16:31	等、
0:16:33	これはちょっと確認したかったのが、
0:16:37	タダノ曲線の
0:16:40	何ていうんでしょう。
0:16:42	曲がり方がちょっとわからなくて、
0:16:45	1.7gぐらいのところですかね、出ず、何か波線の方に行くような、
0:16:52	漸近というか、するようなカーブになっているっていうのは、
0:16:57	これは何か意味があるんですか。もともとの波線のやつを単純に挙げただけじゃなくて、
0:17:05	何か近づくような、
0:17:09	ものになっているのは何か理由があったりするんですか。
0:17:17	北海道電力の相神です。今回のハザードの見直しに伴って、加速度の打ち切り範囲っていうものを設定しております。なので黒実線の方は打ち切りに伴って
0:17:30	加速度がMACCSが決まってくるんですけども、これまでの評価を範囲を決めていなかったんで、大きくなり続けるような評価、その違いが表れている。
0:17:40	ものになります。はい。
0:17:42	以上になります。
0:17:58	規制庁の木本でそうするとだから、あれですかここが、ここ以降が、
0:18:04	何ていうんでしょうさが下がる傾向にあるっていうことなんですかね。
0:18:10	北海道電力の相神です。そうです。この後、1.7gぐらいのところから
0:18:16	なんすかね。株がミヤジマ組合始めてるっていう状態で、
0:18:20	唯一になっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:22	以上になります。
0:18:27	規制庁秋本です。カーリーました。
0:18:33	だから、あとは、
0:18:37	前回からの変更点っていうとハザードカーブだけっていう理解でよかったです。たっけ。
0:18:45	とりあえずは、インプットとしては、
0:18:52	北海道電力のコバヤシですけど今の4ページ目のところはソネハザードカーブこちら、地震PRAインプットしたものでしてその次の5ページ目のところで、フラジリティで、こちらインプットが変更となっております。
0:19:40	規制庁アキモトでそれで、4ページはそれで良いとし、
0:19:47	加速度のばらつきなんですっていうこと。
0:19:53	ちなみにその辺の見解とかっていうのは、
0:19:56	ハザード側の資料とかに載ってたりするんですか。
0:20:05	北海道電力の相神でせいと。
0:20:09	ハザード変更の
0:20:12	前後の理由ということでしょうか。
0:20:16	カナザワの資料では最終的な結果をお示ししている状態。
0:20:21	なので前後の比較等は資料上は見えていない状態になります。
0:20:30	規制庁アキモトでそれでまとめ資料的にわあ、最後の結果が、のハザードカーブだけが載っているっていう理解でよかったです。たっけ。
0:20:45	北海道電力の小林ですまとめ資料としまして補足説明資料の方にはハザード。
0:20:52	前後の比較というのは載せておりますが今回新たにスズキアノ追加いたしました補足の
0:21:00	3、ごめん。
0:21:06	そうですね補足のAとB-1というのを追加してございまして、同じグラフを追加しております。
0:21:13	規制庁秋本ですそしたらなんですけど、ちょっと綿Cが説明してないっていうだけなんですけど。
0:21:21	ここの、例えばあれ、今の比嘉、今の通過今たまたま開いたらそこだけなんですけど比較表の426ページ。
0:21:30	今、開いてるんですけど、
0:21:33	まとめ資料自体にその説明は別にいいんですけど、ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:39	日、そういう理由かそういう、そういう理由ではないけど、
0:21:47	ちょっとそこの解説方、
0:21:50	ばらつきによるもの。
0:21:53	でいいのかな。
0:21:56	何か全体上がってて、例えばだから大井みたいな感じだったら、別に何も気にならないんですけど、
0:22:03	何かこの変曲点がありそうな感じがして、
0:22:06	うんって思ったので、
0:22:09	そこをちょっと解説。
0:22:12	しといてもらうことってできますか。どこ、何でもいいんですけど
0:22:16	どこに書いてくれてもいいんですけど。
0:22:27	はい。
0:22:28	ちょっと。
0:22:29	はい。北海道電力の相神です。Ⅲのところに記載を載せる形でよろしいでしょうか。
0:22:36	規制庁秋本ですそれが可能であればそれで、全然問題ありません。
0:23:36	規制庁アキモトそれで後は、5 ページ、先ほど平本からあった私も同じ質問しようかなと思ってたんですけど、
0:23:47	そもそもこれ、再評価を実施しましたって書いてあって、
0:23:53	バーンと表が載ってるんですけど、
0:23:56	出てな。
0:23:59	結論、
0:24:01	ここのページでの結論って何なんですか。
0:24:11	北海道電力の小林教授、ここをインプットとしてさ、こういう結果になったというところでちょっとそこをちょっと主観が入る形で、
0:24:21	ていう、
0:24:23	吐血考察を記載すべきなのか、
0:24:28	定量化して何倍程度とか、そういった記載はあるのかなと思ってますイデキハラ地震につきましては、
0:24:34	今このどし一番上の四角枠の一番最後の補足 3.2. 1b-1 の P のところで、何倍から何倍程度になっているという、記載はございますけれどもちょっとそこについては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:47	まずはインプットとしてこうなりましたという、現状の記載にとどめている状態です。北海道電力城田です今ご質問されたのは、結局だから何倍から何倍っていうのは、どう、結局どういうふうにとらえてるんだっていうふうに済まされたと。
0:25:02	それはだから変わらないのか、その変わったととらえているのかを記載すべきじゃないかというご質問で北海道電力の小林ですけど、フラジリティー単体でそこを議論するってのはなかなか難しくて、
0:25:14	なのでやはり整理結果も含めてあとハザードも変わっておりますのでその二つ合わせた、次のページ、何が結論なのかなと。結局フラジリティーの変更。
0:25:25	については、試験センターの影響を与えるようなものではなかったというところのイマセセットの回答かなと思っております。
0:25:39	規制庁秋元です。
0:25:42	す。とりあえずパワポはそういう構成で、
0:25:46	するということでしたが、それでさっきの
0:25:50	ヒラモトの流れで、トナミの
0:25:55	違いでしたっけ。
0:25:58	こうなってるっていうのは、
0:26:04	何て言うんでしょうこれ、この抜粋を見たときに、
0:26:08	普通の人って何するかっていうと、何が変わったのかまず見ますよね
0:26:13	どうして変わったのって聞きますよね。
0:26:17	だからー。
0:26:19	それがー。
0:26:22	なんか、
0:26:25	どこかに、
0:26:26	埋め込めないものなのかなあっていうのを、
0:26:30	ちょっと悩んだんですけど、だからこれはだから、タダノ計算結果ですっていうだけってことですかね。
0:26:42	北海道電力の甲斐コウです。先ほど高橋の方からもご説明した通りですねフラジリティーのここに表示してる数値っていうのはあくまで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:53	ハザードは変わりました。それを受けて、フラジリティ評価を結果した結果、このように、結果が出ましたというところになります。なので、
0:27:03	我々最終的にやりたいのはシーケン選定の影響といったところなので、このデータ結果を用いて、PRA評価をして、CK前提は影響ありませんでしたと。
0:27:15	いう、そういった流れで結論を持っていったる。
0:27:18	ものになります。はい。
0:28:05	規制庁アキモトですわかりましたそれで、6ページは、
0:28:11	あ、ごめんなさい5ページの抜粋っていうのは、
0:28:15	抜粋、これが一番、何か大きく変わったからとかそんな理由で、これを抜粋してるんですけど。
0:28:24	何かこれをピックアップした理由って何かあるんでしょうか。ありますか。はい。北海道電力の小林ですけども、建屋につきまして、タテ松木橋では三つしかございませんでその中で、
0:28:37	よし、最終的な定量結果に効くものとして今建屋、原子炉建屋を、
0:28:42	と記載しておりまして土木構造物につきましてもともと一つしかございませんので、それは一つ記載してると。機器はもう多数100を超える数ありますのでそれは一番結果に効くものという
0:28:56	はい。
0:28:57	載せております。
0:29:03	規制庁アキモトイセわかりました6ページは、
0:29:08	6ページは、
0:29:11	あれですよ変更前と変更後で変わって、
0:29:16	いるところという、大体上がっているけれども、原子炉建屋損傷だけは下がってる。
0:29:25	ていうのは、
0:29:29	さっきのフラジリティとの関係とか、なんでしたっけ、ちょっとここはちょっと。
0:29:34	解説してよろしいですか。はい。北海道電力の小林ですけどフラジリティの数値として上がっていくっていうことは強度が増したということです、凍りにくさがそのまま炉心損傷頻度に現れてるということです。
0:31:25	規制庁秋元ですわかりました。そしたら際、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:29	それだからあれか、最後のページで、
0:31:35	すけど、9 ページは、
0:31:39	ちょっと何ていいでしょう、あれなんでまた同じ説明してんのでって思ったんですけど。
0:31:46	わかります。何を言わんとしてるかって、津波PRAについては最終評価結果について、確定後別途提示します。わかりましたよってそれはわかるんですけど。
0:31:57	前回なんて言ったんでしたっけ。
0:32:00	オギでは、
0:32:08	最高です。結果に影響を与えるような、そういったシーケンスが選定された場合には、最終評価結果の報告の前に、即座にご報告をしますと。
0:32:19	そういったところのちょっと記載がこれ抜けております。
0:32:25	はい。
0:32:29	承知しましたその部分追記させていただきます。
0:33:37	規制庁秋本ですちょっと町内簿井打ち合わせをします。
0:37:03	規制庁アキモトですそれでは、
0:37:05	パワポは私からは以上ですけど何かその他ありますか。
0:37:10	よろしいですか。
0:37:11	入って、まとめ資料も別に
0:37:16	別にとというか、
0:37:20	ちなみに、さらっと%の比較表を見てて、資料1-3で、
0:37:26	-41 ページで、
0:37:32	これ黄色枠は電点点になっているのは、何かあれでしょう、これがツジを消した箇所とかそういうことなんでしたっけ。
0:37:41	はい。北海道電力の小林ですけどその通りでしてここ磯野地震PRの評価結果によっては、女川なりの
0:37:50	岩瀬説明が必要になるというそれを想定してあらかじめ空白で衰弱設定したものでして結果を受けて、直営特筆すべきことがないということで、削除した。
0:38:03	部分になります。以上です。
0:38:11	規制庁秋本です。そのほか質問コメント等あり。
0:38:20	すいません規制庁のカタギリセトパワーポイントの5 ページで、
0:38:25	変更前後を見てて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:29	その中央値って書いてるところが変わるのはわかるんですけども、ベーター-Rが、
0:38:37	変更前後変わってるものがあるのっていうのは、これって、
0:38:42	何か簡単に理由は説明できるでしょう。
0:38:56	本店の方で回答できますか。
0:39:11	すいません北電本店ですけれども、少々お待ちください。
0:39:34	すいません小田島北海道電力の大澤です。フラジリティ評価におきましてはフラジリティ曲線を最終的には評価しておりますけれどもその曲線のばらつきを表現した場合、
0:39:47	係数になってございますので今回回答結果が変わって大戸のプロットによってコマフラジリティ曲線も変化しましたのでそれによってその標準偏差といいますかばらつき具合がちょっと変わってこのケースに現れているというものと、いうふうにとらえております。以上です。
0:40:03	規制庁カリヤマここはフラジリティの評価が効いてくるところで他の機器とか何とかは、例えばなんか、標準化なんかから引いてきてるので、変わってないっていう理解でよろしいですか。
0:40:16	北海道電力のおっしゃる、そのような理解で
0:40:19	もう同じです。以上です。規制庁カドイイセ、理解しました。私から以上です。
0:40:29	規制庁アキモトですそれでは、
0:40:31	ウェブも含めて、何かありますでしょうか。全体として、全体通貨PRAですね。
0:40:38	よろしいですか。
0:40:40	はい、じゃあ、PRAは以上ということで、
0:40:53	すみません規制庁の寺口です。1点だけさ、やっぱりフラジリティの5ページのところなんですけど、建屋とか土木構造物はまあいいんですけど機器はいっぱいある中で、
0:41:06	1%コントロールセンター出してきたってことなんですけどこれ重要度が高いからってことですよね。嫌なんで、これを出したことを、
0:41:17	書いていただいた方理由を書いていた方がいいかなと思うのは、こういう違いが出やすいのって、こういう電気品みたいないわゆる5設備ですか。
0:41:28	じゃなくてその中設備みたいな方が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:30	それはフラジリティが変わりやすいかなと思ったんですけども、このパワーポイントを出してきた理由っていうのを書いていただいた方がいいかなと。
0:41:43	今見て思ったんですけども。はい。北海道電力の小林です。例えばこの表のところに機器の特交だったりその右のところに米印つけて下に注記を記載。
0:41:55	そういうことで対応させていただくことで問題ございませんでしょうか。了解しましたそれで大丈夫だと思います。はい、了解しました。
0:42:17	規制庁脇本ですそれではじゃあ、続いて資料1-5、D、よろしいですかね。はい、じゃあ説明をお願いします。
0:42:24	はい北海道電力今村です。39条について説明資料1-5を用いて39条の説明させていただきます。ページ開きまして2ページ目に、説明の概要を記載させていただいております。
0:42:37	耐震設計方針の一通りの説明9月、昨年9月7日に佐瀬説明させていただいておりますけども、その時から地震ハザード変更になってございますのでその地震ハザード変更に伴う地震PRAの評価結果を今回反映したのになってございます。
0:42:52	具体的な5.1の地震の従属事象独立事象の判断の参考として地震PRAの結果を引用してございます。
0:43:00	で、前回までの値としては 1.2×10 のマイナス7乗パー炉年だったものが今回評価見直した結果、 1.8×10 のマイナス。
0:43:10	70%炉年となつてございましてこちらについては、発生確率十分低いということでこれまで説明したロジックに影響を与えるものではないということを確認してございます。
0:43:20	その上で、さらに補足として3補足算定がございましてそこでもう値引用してますので、その値を修正したのになってございます。説明としては以上となります。
0:43:33	規制庁秋本ですそれではこちらからの確認になります。
0:43:36	何かありますでしょうか規制庁側。
0:44:09	あ、規制庁ナカザキ井清とところ記載だけなんですけど、通しの11ページの最後の行で、
0:44:17	全身を考慮した炉心損傷頻度約9.2イトウ、頻度は、
0:44:23	入れた方が読みやすいような気がするんでちょっと確認しておいてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:29	はい。北海道電力今村です。はい、おっしゃる通りだと思いますので、アノはというのを付け加えさせていただきたいと思います。以上です。
0:44:46	規制庁秋本です。じゃあ、ウェブも含めて何かありますでしょうか。
0:44:52	はい、じゃあ、よろしければ、本日のヒアリングは以上で終了にしたいと思いますが次、事業者側から何かあります。
0:44:59	特にないということで、はい、理解しました。はい、じゃあ以上にシライしたいと思いますお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。